



校報

けむやま

矢巾町立煙山小学校
H29.10.27(金)第12号
紫波郡矢巾町北矢幅 1-2
TEL697-3163

学習発表会

心を込めて伝えよう
とどけ 私たちの想い!

高め合おう
礼節を重んじ美しく

写真

元気いっぱいの開会の言葉。1年生

スイミー 2年生

写真

一つにまとまってこわいマグロを追い出そう!

おばけの遠足 1年生

写真

ゆうらゆうら…。ジュースを飲むと人間にみえちゃうぞ!

写真

三年とうげ 3年生

1回転べば3年で、10回転べば30年、100回転べば300年。転んで長生き、こりゃめでたい!

写真

ほんとうの宝物は 5年生

写真

さらに磨きがかかった～微笑みの国セレクション～

吹奏楽部

写真

友達、お父さん、お母さん…。私たちは多くの宝物に支えられて生きています。ありがとうの想いを…。

本当の宝物は…。一生懸命働くこと。お年寄りの智恵。未来を創る子供たち…。目に見えないものにこそ、本当の宝物が…。

命ドウ宝～ひめゆりたちの沖縄戦～ 6年生

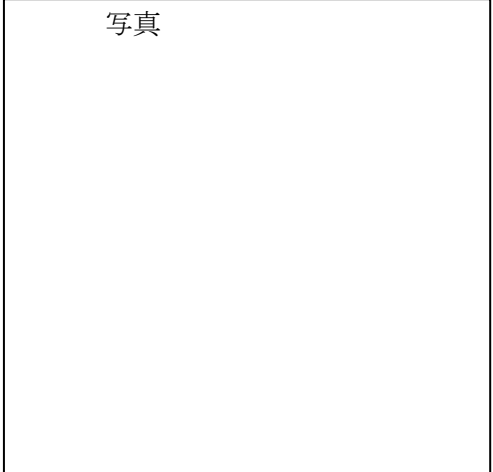
写真

圧巻! 笑い無し! 難しいテーマに挑んだ迫真の劇。子供たちは、演技前に黒板に想いを書き込み、本番に臨みました。感動のフィナーレ。これぞ、最高学年の演技。煙山小の力を見せてくれました。

10歳の宝物 4年生

どんなに技術が優れていても想いが伝わらなければ音楽とは言えない

**矢巾町小学校
音楽会**



上の言葉は、和田教育長さんが挨拶の中で、指揮者で有名な小澤征爾さんの言葉を引用し子供たちに伝えてくださったものです。

木曜日の校内の発表会を見ました。感動しました。土曜日も見ました。もっと感動しました。そして田園ホールでの発表。涙が込み上げてきました。

歌う表情、笑顔、本気のダンス…。想いが伝わるといのはこういうことなのだ。

最後の曲が終わった瞬間、優也先生がお辞儀をする前に会場から大きな拍手を頂きました。

この拍手は、今まで、いっぱいいっぱい練習してきた4年生に嬉しい贈り物となりました。

「友達だから」「マイバード」「Dreame & Dreame ~夢をつなごう」

心に響く小さな感想文

シリウス様からご寄贈いただきました、「心に響く小さな5つの物語」の感想文が保護者の方から寄せられました。拝読し、とても感動いたしました。


掲載をお許しいただいたものについて、2回に分けてご紹介いたします。

まっすぐに心に突き刺さってくる、大事なことに気付かせ、勇気を与えてくれるような言葉がたくさん詰まった本だと思いました。

本当に、自分の人生を一生懸命に生きることができたなら、色々なことを成し遂げることができるのだということを改めて感じました。

自分が恵まれた人生を歩んでいることを忘れず、精一杯生きていきたい。そのような気持ちにさせていただきました。

良い本をありがとうございます。

4年生 母 

自分の人生は自分自身で切り開いていくものであり、考え方を変えていくことや行動することで、絶対に何かが見えてくることを、この本を通して心から深く学ぶことができました。

第一話では、脳性マヒにかかったおかげで、生きるということがどんなに素晴らしいことを知らせていただいた…。第二話では、子どもに本を読めというなら、まず自分が読まなければということに気づき、その本から自分もこのように生きたいと思った…。第三話では、三浦さんが病気になったのは、神様の思し召しがあったと笑顔で答えたこと…。第四話では、リンカーンは何度も政治家への道をころもみで落選を繰り返すが、夢と志が逃げることを許さなかった…。第五話では、命の炎を燃やして生きるとは、自分のいる環境を照らして生きる人、つまり、主となり自分の人生の主人公となって生きることである…。この文章からこれらのことが強く伝わってきました。私には、中学3年生の娘と、小学校6年生の娘がおります。どちらも今、高校受験と中学校入学という人生の大切な節目の時期を迎えました。この本に出会って、感動は人を変え、笑いは人を潤し、夢は人を豊かにすることを知り、これからの人生に前向きに向き合っていける自信がつかしました。自分にとって一番大切なものは何かを考えてみることで、今後は夢や希望を持って前向きな人生を送っていきます。感動をありがとうございました。

6年 母 